

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 5 月 17 日 (2012.5.17)

【公開番号】特開 2010-237552 (P2010-237552A)

【公開日】平成 22 年 10 月 21 日 (2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報 2010-042

【出願番号】特願 2009-86875 (P2009-86875)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/377 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/66 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 5/36 5 2 0 M

G 0 9 G 5/00 5 5 5 D

A 6 1 B 5/00 D

G 0 6 T 3/00 3 0 0

H 0 4 N 5/66 D

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 23 日 (2012.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の画像から所望の一枚を選択する選択手段を備えた画像表示装置において、
過去に前記所望の一枚を用いて少なくとも一枚以上の画像を合成したことがあるかを判断する判断手段と、前記判断手段による判断に応じて、再度複数の画像の合成処理を行い合成画像を生成する合成画像生成手段と、該合成画像生成手段により生成された合成画像を他の画像表示装置へ転送する転送手段を備えたことを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】

複数の画像から所望の一枚を選択する選択手段を備えた画像表示装置において、
過去に前記所望の一枚を用いて少なくとも一枚以上の画像を合成したことがあるかを判断する判断手段と、前記判断手段による判断に応じて、前記所望の一枚と該所望の一枚に重畳して合成したことがある少なくとも一枚以上の画像を他の画像表示装置へ転送する転送手段と、前記合成画像生成手段において合成画像を生成するためのプログラムを記憶する記憶手段を備え、前記転送手段により前記所望の一枚及び前記少なくとも一枚以上の画像を転送する場合に、前記合成画像を生成するためのプログラムも転送することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 3】

複数の画像から所望の一枚を選択する選択手段を備えた画像表示装置において、
過去に前記所望の一枚を用いて複数の画像を合成したことがあるかを判断する判断手段と、前記判断手段による判断に応じて、再度複数の画像の合成処理を行い合成画像を生成する合成画像生成手段と、少なくとも一枚以上の画像を他の画像表示装置へ転送する転送手段とを備え、

前記転送手段は、前記所望の一枚のみを転送する手段と、前記他の画像表示装置からの要求に応じて、前記所望の一枚と合成処理をしたことのある少なくとも一枚以上の画像を合成して該他の画像表示装置へ転送する手段を備えたことを特徴とする画像表示装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の画像表示装置をネットワークを介して接続した画像表示システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記の課題を解決するために、本発明によれば、複数の画像から所望の一枚を選択する選択手段を備えた画像表示装置において、

過去に前記所望の一枚を用いて複数の画像を合成したことがあるかを判断する判断手段と、前記判断手段による判断に応じて、再度複数の画像の合成処理を行い合成画像を生成する合成画像生成手段と、該合成画像生成手段により生成された合成画像を他の画像表示装置へ転送する転送手段を備えたことを特徴とする画像表示装置が提供される。